

闇を照らす 温かなともしび

(3月11日、「3.11夢あかり」)



—東日本大震災から7年— 御霊に祈り捧げ 誓う古里の復興



1 東日本大震災から丸7年を迎えた追悼式には家族や関係者など約千人が参列しました2 追悼のこぼれを述べた高橋勇樹さん3 参列者は亡き家族や知人を思い描きながら、献花台に花を供えて冥福を祈りました

平成23年3月11日午後2時46分に発生し、市に未曾有の被害をもたらした東日本大震災から丸7年。

「陸前高田市東日本大震災追悼式」は3月11日、市総合交流センターで開かれ、遺族や関係者など約千人が参列し犠牲者の御霊に祈りを捧げました。

式では、地震発生時刻の午後2時46分に参列者全員で黙とう。戸羽太市長は「街並みやなりわいの再生だけでは復興は達成されない。『心の復興』こそが真の復興。誰もが生き生きと笑顔で過ごせる『ノーマライゼーション』という言葉のいらないまちづくりを進めていく」と式

辞を述べました。追悼のこぼれを述べた高橋勇樹さん(40)は、米崎町は、亡くなった両親に語りかけるよう、再建した家業のことや家族の近況を報告。そのうえで「このまちには、たくさんの仲間がいる。その仲間と一緒に手を取り合い、一歩ずつ歩いていく。悲劇を繰り返さないよう震災の教訓を伝承していく。陸前高田を命をつなぐまちとして、世界に知っていただけるまちにしたい」と力強く話しました。

参列者は、犠牲となった家族や知人を思い描きながら献花台に花を供え、一日も早い古里の復興を誓いました。

☆広報りくせんたかた
Takata

平成30年4月号 No.1027

CONTENTS_目次

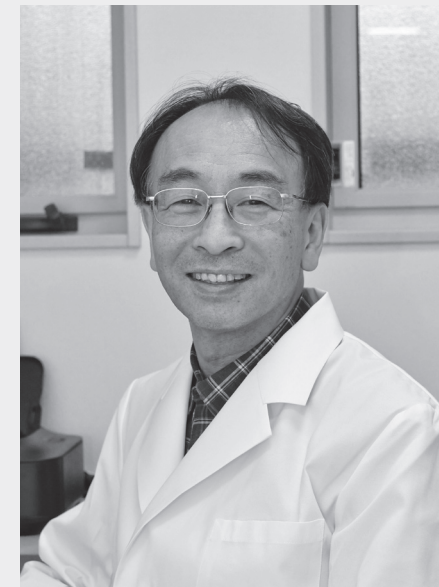
- 2 Takata夢追人 岩井直路さん
- 3 Front Topics 東日本大震災追悼式
- 4 特集・START —平成30年度—
施政方針、教育行政方針、予算
- 10 市職員人事異動
- 14 市役所からのHOT LINE
陸前高田市総合交流センター開館
- 16 気仙中学校・第一中学校閉校式
- 18 市民のひろば
むしばのない子あつまれ！
- 19 健康だより
介護お茶のみ話、保健だより
- 20 生涯学習情報 はまらっせあ
- 22 地域話題
陸前高田グローバルキャンパスシンポジウム／市内小中学校で卒業式／介護予防教室ふりかえり交流会／東京六大学バスケットボールリーグ戦／みんなの夢AWARD in陸前高田／三陸伝統芸能フェスティバル2018
- 24 気仙風土記(655)
- 25 慶弔・数字で見る陸前高田市
- 26 INFORMATION
- 28 今月のおすすめレシピ



COVER STORY_今回の表紙

「3.11夢あかり—陸前高田の慰霊と復興—」(陸前高田ふるさと復興応援隊主催)は3月11日、栃ヶ沢公園で開かれました。会場は、東日本大震災の犠牲者への慰霊の祈りと、未来への希望が込められた温かなともしびに包まれました。

Takata 夢追人



人とのつながりを大切に
医師としてできることを

4月から広田診療所所長に就任
地域に密着した医療活動へ意欲

岩井直路さん

いわい・なおみち 62歳

● Profile

昭和30年東京都杉並区生まれ。同57年3月に千葉大学医学部を卒業。専門は呼吸器外科。平成21年からは松戸市立福祉医療センター東松戸病院の院長を務めた。血液型A型のしし座。

医者だけでは医療は成り立たない。住民の皆さんと同じ目線で、一緒に歩んでいきたい。4月1日付けで広田診療所の所長に就任した岩井直路さんはこれからの思いを語った。

岩井さんは昭和57年に千葉大学医学部を卒業後、呼吸器外科医として千葉県内を中心に活動。緩和ケアや在宅ケアに造詣が深く、平成21年に東松戸病院の院長となつてからは、介護予防にも力を入れ、全国に先駆けてロコモティブシンドロームの健診を取り入れてきた。「病気を治すだけでなく、どうすれば病気になるか」という予防医療の考えが大切と話す。

被災地を支援したい気持ちや地域に密着した医療に携わりたいという思いがあった岩井さん。この診療所を紹介してくれた下沖医師やフレンドリーに歓迎してくれた広田の住民など「さまざまなかみ合わせで陸前高田の地にくることにつながった」と感じている。

目の前の人となることが好きと話す岩井さんは「新しい医療体制の構築や地域の子どもたちの活動」などやりたいことは膨らんでいるが、まずは「早く気仙語を覚えて、気仙語で皆さんとお話したい」と笑顔を見せた。

—岩井医師の診療は4月4日から始まります。

震災復興計画の最終年度 未来見据えたまちづくり

平成30年市議会第1回定例会（3月定例会）は、2月21日から3月13日まで開かれ、初日に戸羽太市長が施政方針演説を述べました。「復興後の新しいまちの姿が見え始め、少しずつではあるが、にぎわいも生まれてきた。震災復興計画の最終年度である30年度は、計画期間の終了後を見据え、一つでも多くの復興事業の完成を目指し、引き続き全力で取り組んで行く」と決意表明しました。ここでは、その内容の一部を抜粋して紹介します（施政方針演説の全文は市ホームページに掲載しています）。

基本施策

震災復興計画の総括

30年度は、8年間を計画期間とした「陸前高田市震災復興計画」の最終年度となり、完成が見込まれる気仙小学校や今泉保育所、保健福祉総合センターの着実な事業推進を図り、これまでの各種復興事業の取り組みに対し、完了した復興事業の効果検証を行います。

継続して実施する事業は、国、県や関係団体との連携をより一層強化し、課題解決、

事業進捗の加速化に努め、震災復興計画の総括に取り組みます。

新たな総合計画の策定

震災復興計画が30年度で終了となり、震災復興計画を引き継ぐ、新たなまちづくりの指針となる総合的な計画が必要となることから、31年度から10年間を計画期間とした「陸前高田市まちづくり総合計画」の策定に取り組みます。

持続可能なまちづくりと、誰もがいきいきと笑顔で過ごせる「ノーマライゼーション

という言葉のいらないまちづくり」を進めるため、市民の皆さまのご意見を盛り込んだ、計画の策定に取り組みます。

「ノーマライゼーション」という言葉のいらないまちづくり」の推進

30年度は、引き続き「ユニバーサルデザインチェックリスト」の普及啓発に努め、ユニバーサルデザインに配慮した店舗整備に対する支援を行います。

ユニバーサルデザインに配慮した店舗の認証では、店舗

の設計の段階から、知見を有する方々からのアドバイスをいただくことにより、誰にもやさしいまちづくり・店づくりを目指します。

障がいのある人への理解促進、機運醸成を図ることを目的に、アンプティサッカーやパラリンピックなどで活躍している障がい者アスリートとの交流に取り組むとともに、障がいのある人や高齢者などの就労の場創出に向けて、誰もが生き生きと働くことができる環境づくりの構築を目指します。

クレセントシティ市と国際姉妹都市提携

東日本大震災の津波で流失した県立高田高等学校の実習船「かもめ」がクレセントシティ市に漂着したことが「縁」となり、デルノータ高校と県立高田高等学校の相互交流が生まれました。

新たな陸前高田市の船出には、震災により生まれたこの「縁」というものを大切に、30年度には、クレセントシティ市との姉妹都市提携締結に向けた取り組みを進め、クレセントシティ市と手を携えながら友好を深めていきます。

震災復興計画に掲げるまちづくりの主要施策

① 災害に強い安全なまちづくり

▼海岸保全施設 高田地区海岸防潮堤および気仙川河口水門の早期完成を目指します。

▼災害に強い道づくり 国道45号とアップルロードとの交

差点と高田地区の高台の拠点エリアを浸水区域外のルートで結ぶ（仮称）高田・米崎間道路の整備を推進します。

▼地域防災対策 防災行政無線の放送内容のメール配信システムや電話対応サービス機能の周知、防災資機材などの整備充実に取り組みます。

▼洪水被害への対応 台風に伴う洪水などの被害を最小化するため、関係機関のとりまき行動を時系列で整理した計画を策定します。

▼松阪市との災害時協定 三重県松阪市と「災害時の相互応援に関する協定」を締結し、災害時の迅速かつ的確な支援活動を行います。

▼消防の救援・救護体制 迅

速な消防救急体制を充実させます。消防職員、消防団員の教育訓練を図り、多様化する災害に対し安全確保を第一とする消防活動に努めます。

② 快適で魅力のあるまちづくり

▼市街地の整備 かさ上げ地にコンパクトな新市街地を形成するとともに、歴史文化を受け継ぐ街道の復元や景観に配慮した市街地を構築します。

▼市道などの整備 高台移転事業に併せた関連道路の整備と、防災道路網の整備に取り組みます。

▼橋の整備 姉歯橋と誂石橋の復旧整備を進めるとともに、（仮称）今泉大橋、気仙大橋の一日も早い完成を目指します。

▼公共交通 中心市街地の陸前高田駅舎の建設に併せ、JR大船渡線BRT「陸前高田駅」を移設するとともに、現在の陸前高田駅は「柵ヶ沢公園駅」として継続設置します。

また、高台に整備される県

立高田病院と中心市街地を結ぶ循環バス路線を新たに設置するとともに、復興段階に応じた柔軟な運行を実施し、利用しやすい公共交通環境の構築を図ります。

▼スポーツ施設の整備 高田松原津波復興祈念公園内に復旧する野球場やサッカー場の整備に取り組みます。

▼新庁舎の整備 実施設計に着手し、32年度内の完成を目指し、事務事業を進めます。

③ 市民の暮らしが安定したまちづくり

▼一般住宅 給水工事や道路整備工事などに対する助成を引き続き行います。

▼水道事業 横田地区の拡張工事を継続し、30年度の一部供用開始を目指します。

▼下水道事業 北幹線、市道鳴石線の道路整備に併せて、汚水・雨水管渠の整備を進めます。

▼子育て支援 今泉保育所や子育て支援センター、放課後

児童クラブを併設した複合的な施設の高台への整備を進めます。また、子どもの出生や小中学校入学時に、保護者に対し新生児用品や学用品が購入できる商品券を配布します。

▼保健福祉総合センター 隣接する県立高田病院と連携し、高齢化に対応した医療・介護の拠点施設として、30年度内の完成を目指します。



保健福祉総合センターの完成イメージ図

▼医療費助成 助成対象を中学生まで引き続き拡大するほか、未就学児童と妊産婦を対象に現物給付を継続します。

▼国民健康保険税 低所得世帯に対し一部負担金免除措置

▼地域包括ケアシステム 住民が地域の課題や資源などを共有するため、「地域支え合い協議体」づくりを広げていきます。

▼障がいのある人の自立支援 状況やニーズに適切な自立支援給付などにより、適切な障がい福祉サービスの提供に努めます。

▼被災者の見守り・交流推進 災害公営住宅の入居や高台移転などにより、生活環境が変わる人の見守りや地域との交流事業に取り組み、新たなコミュニティづくりや生きがいづくりを支援します。

▼被災者支援 住宅再建の各種補助金や、相談会を開催しながらサポートを継続します。



④ 活力あふれるまちづくり

▼たかたのゆめ 栽培体系と市場評価の確立に向けた取り組みを進め、生産者の所得向上を図るとともに、「たかたのゆめ」を通じた陸前高田ファンを創出する取り組みを一層推進します。

▼農業を通じた地域づくり

「北限のゆず」をはじめ、本市振興作物などの農産物ブランド化や6次産業化に取り組みます。

▼ピーカンナツ 市場、食文化形成や苗木育成に係る各種実証事業を推進します。

▼道の駅「高田松原」 国、県と連携を図りながら、31年夏のオープンを目指し整備を進めます。

▼林業振興 気仙スギをはじめとする良質な用材の生産、地域木材を利用した住宅・店舗の新築や増改築に対する支援を行います。

▼林業の担い手対策 地域おこし協力隊を増員し、定着人口の増加を目指し、自伐型林業による事業モデルの構築を図ります。また、定住促進に

つなげるため、農業と林業が持つ複合的な地域資源を活用した仕事づくりにチャレンジできる環境整備を行います。

▼漁港整備 漁港の長期利用を見据えた機能保全計画を策定し、漁業者の利便性と効率性の向上のための基盤整備を進めます。

▼漁業者の生産活動の向上

漁業集落防災機能強化事業などを活用し、漁具置場整備や漁具倉庫整備を進めます。

▼広田湾産ブランド 情報発信と普及定着を図るため、イベントなどでの物産販売や販路拡大に向けた取り組みを支援します。

▼エゾイシカゲ貝 陸前高田オンリーワン・ブランドの特産海産物として「陸前高田・広田湾」の産地名称を国内外に広く情報発信します。



特産海産物のエゾイシカゲガイ

▼商工業の再建 新たな市街地へ商店や事業所の早期再建が図られるよう、国、県によるグループ補助金や、中小企業被災資産復旧事業費補助金などを継続するとともに、テナント事業者本設店舗建設支援事業や「店舗等ユニバーサルデザイン推進事業」を継続し、早期の商店街再生に向けた取り組みを進めます。

▼起業家の育成 起業プランコンテストの開催や起業家への補助金交付制度の創設など、創業希望者の発掘、育成を支援します。

▼観光振興 防災教育や農林水産体験プログラムを通じた教育旅行、企業研修の誘致、民泊の推進に取り組みます。また、ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、三陸沿岸道路の全線開通を見据え、外国人を含めた旅行者の受け入れ体制の強化を進めます。

▼交流人口の拡大 名古屋市や川崎フロンターレ、東北楽天ゴールデンイーグルスをはじめ、支援いただいている自

治体や団体とのさまざまな交流を図ります。

▼海水浴場 広田海水浴場を再開し、みちのく潮風トレイルと合わせた活用に取り組みます。

▼奇跡の一本松 (仮称)一本松記念館は、市全体の交流人口の拡大・賑わいの創出に貢献する空間となる施設として、基本設計などに着手します。

▼ふるさと納税 高齢者や障がいのある人の就労支援を通じて生きがいづくりと、新たな特産品の開発などに取り組みながら情報を発信します。



返礼品の梱包作業の様子

▼陸前高田思民制度 本市に関心と愛着を持ち続けている人などを対象に思民制度の周知や加入促進を図ります。

▼移住定住支援 空き家情報を含む移住定住に関する情報発信の強化や移住視察ツアー

などを実施し、移住定住の促進に取り組みます。

▼国際リニアコライダー 市民や民間団体と連携しながら意識の醸成を図ります。

⑤ 環境にやさしいまちづくり

▼再生可能エネルギー 太陽光発電や木質バイオマスなどの一般家庭への導入を支援します。また、気仙小学校や保健福祉総合センターに太陽光発電と蓄電設備を設置します。

⑥ 協働で築くまちづくり

▼コミュニティ施設等の整備 気仙地区コミュニティセンターの設計業務に着手し、早期の完成に努めます。

▼自治会館 新たな住宅地での自治会設立支援のほか、津波で流失した施設の新築再建、防災や避難所に対応した改修などの施設整備を支援します。

行財政運営

▼市職員 職員一人一人が常に市民の目線に立ち、情報の共有化とスピード感を持って業務に取り組みます。

教育行政方針

郷土で学び夢を拓く、心豊かでたくましい人づくり

ていきます。

▼たくましく生きる力を育む学校教育 将来に向けた人づくりの観点から、生徒指導や道徳教育、キャリア教育を一層充実させるとともに、課題解決のための思考力・判断力・表現力の育成や学ぼうとする意欲の醸成など、主体的な学びをキーワードとした「生きる力」の育成に努めます。

▼新しい教育課題への対応 授業の質の転換や小学校における外国語活動の拡大、道徳の教科化などの対応のため、教育研修を充実させるほか、「民の力」も積極的に活用し各学校をサポートしていきます。



県社会科教育研究会の様子



できるような本に親しむ機会の増加を図るとともに、震災関連図書やノーマライゼーション関連図書の充実にも努めていきます。



図書館の内観

② 人生を豊かにする生涯学習、魅力ある社会教育の推進

▼新しいまちづくりに向けた教育環境の整備

▼生涯学習のつどい」の開催や市の広報紙などによる情報発信を行い、生涯学習の普及奨励に努めます。

③ 新しいまちづくりに向けた教育環境の整備

▼スポーツの推進 4月に開館する総合交流センターとB&G海洋センターを拠点施設とし、スポーツ教室やイベントの開催などにより、市民の健康増進と交流人口の増加に努めます。

▼(仮称)市民文化会館

市民の芸術文化の拠点施設として、さらには中心市街地のにぎわいを創出するため、建築工事に着手し、31年度の完成に向け、工事を進めていきます。

▼博物館 自然・歴史・文化

④ 多様で個性ある文化の創造

▼芸術文化 多くの市民が広く芸術文化に触れ、自ら参加し発表する機会として市民芸術祭を開催するとともに、各種芸術団体の自主的な活動を支援します。

▼文化財の保存と活用

町ごとの文化財基礎調査の継続、市内の化石産地の保護と活用を目的とした調査の実施、国指定史跡中沢浜貝塚歴史防災公園の活用や県指定文化財吉田家住宅の復元への取り組みを進めます。

財政用語解説

▶**特別会計** 特定の収入で特定の事業を行うために、一般会計とは区別して設けられる会計

▶**事業会計** 地方公営企業法の適用を受け、水道事業のように、事業収入で経営を行うために設けられる会計

▶**収益的収入・支出** 単年度の経営で予定される全ての収益と費用

▶**資本的収入・支出** 将来の経営活動に備えて行う建設改良などの支出と、財源となる収入

▶**自主財源** 市税や各使用料など、市が自ら収入できる財源

▶**市税** 皆さんから納めていただく市民税や固定資産税、軽自動車税など

▶**繰入金** 基金の取り崩しや、ある会計から別の会計に繰り入れるお金

▶**依存財源** 国や県からの交付金や借入金など

▶**地方交付税** 市の行政サービスが一定の水準となるように財政状況に応じて交付されるお金

▶**市債** 事業を行うために市が資金調達するお金（＝市の借金）

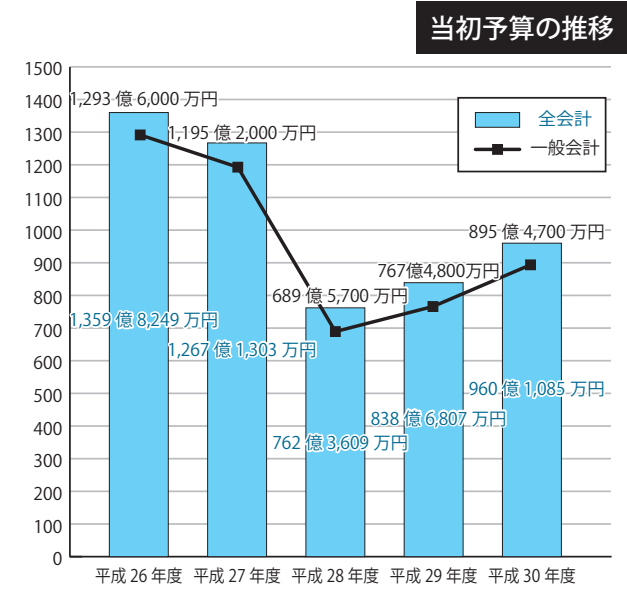
▶**災害復旧費** 災害で被災した施設などの機能を回復するために使うお金

▶**公債費** 市債を返済するために支払うお金

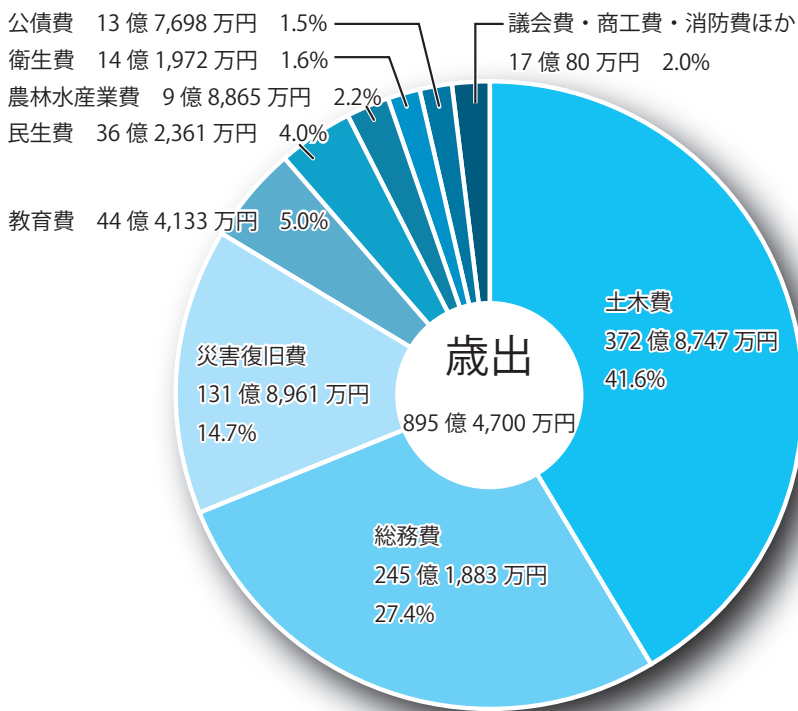
市民1人当たりに使われるお金（一般会計） 458万9,800円		
総務費 125万6,731円	民生費 18万5,731円	衛生費 7万2,769円
農林水産業費 10万1,929円	土木費 191万1,198円	教育費 22万7,644円
災害復旧費 67万6,044円	公債費 7万578円	その他 8万7,176円

市民1人当たりが負担するお金（市税）
7万6,951円

※2月28日現在の人口（1万9,510人）で計算



円グラフ2 歳出内訳（目的別）



歳出

歳出の内訳を目的別に見たのが上の円グラフ2です。

土木費が372億8747万円で最も多く全体の41・6%。次いで、総務費が27・4%となっており、復興を進めるインフラ整備に関する予算が大半を占めています。震災復興計画に基づく重点事業は次のとおりです。

【災害に強い安全なまちづくり】 消防団拠点施設災害復旧事業費 2億3148万円

【快適で魅力のあるまちづくり】 高田地区土地地区画整理事業費 191億3038万円、今泉地区土地地区画整理事業費 66億6272万円

【市民の暮らしが安定したまちづくり】 高田松原公園等の整備に係る都市施設災害復旧事業費 23億3424万円、高田小学校の移転に係る小学校移転事業費 21億9982万円

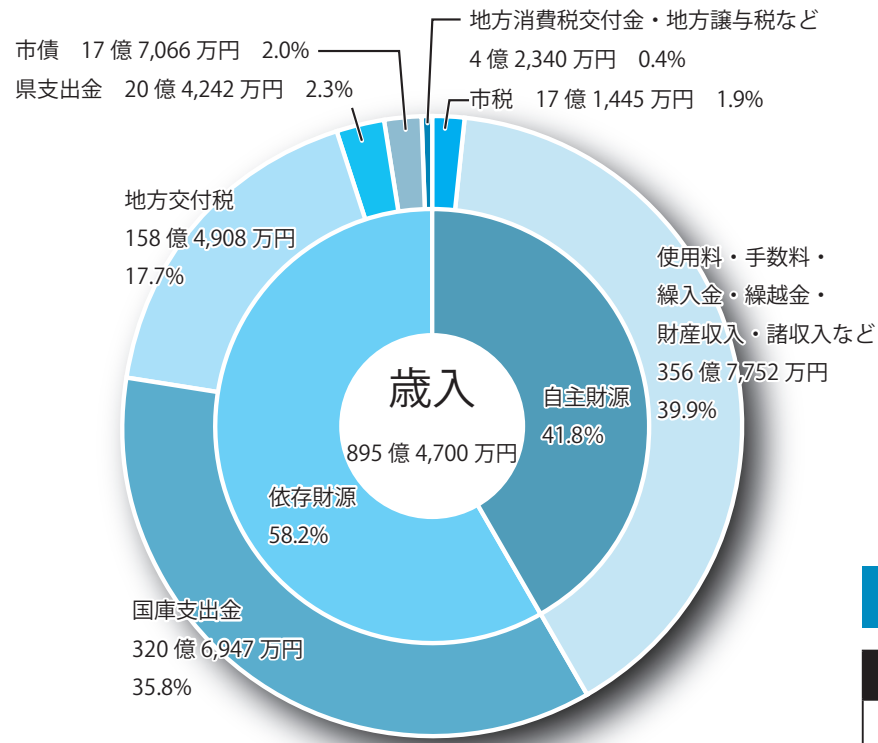
【活力あふれるまちづくり】 高田松原物産施設整備事業費 5億5634万円、仮設店舗等整備事業費 2億9240万円

【環境にやさしいまちづくり】 新エネルギー設備導入促進事業費 1000万円

【協働で築くまちづくり】 小泉・糠塚沢公民館の改修に係る自治会館等整備事業費 1006万円

一般会計総額は895億4,700万円

— 前年度比16.7%増 —



円グラフ1 歳入内訳

歳入

歳入の内訳は円グラフ1のとおりです。最も多いのは繰入金や使用料、手数料などの356億7752万円（39・9%）。市税は前年度比0・7%増の17億1445万円となっています。自主財源は373億9197万円（41・8%）で、前年度40億1627万円の減となりました。一方、依存財源は521億5503万円（58・2%）と前年度比で168億1527万円増加。内訳は、国庫支出金が約194億円の増加、地方交付税が約18億円減っています。

市債は、前年度比22・8%減の17億7066万円。30年度末の残高は131億9624万円となり、市民一人当たりの残高は68万円となる見込みです。

30年度の市の予算は市議会第1回定例会の最終日（3月13日）に可決されました。一般会計の予算額は、前年度比127億9,900万円（16.7%）増の895億4,700万円、6つの特別会計を合わせた総額では960億1,085万円となりました。厳しい財政状況が続く中、限られた財源を最大限に活用し、復旧・復興事業を最優先に進めるとともに、「まち・ひと・しごと総合戦略」に基づき、交流人口の拡大や子育て支援などの事業を推進します。

◆問い合わせ先…市役所財政課 財政係（内線162）

※金額は1万円未満を四捨五入

平成30年度各会計の予算額		
会 計 名		予算額(前年度当初比)
一般会計		895億4,700万円(+ 16.7%)
■特別会計		
下水道事業		8億4,747万円(+14.9%)
農業集落排水事業		6,264万円(-6.3%)
漁業集落排水事業		1億1,110万円(-28.9%)
国民健康保険	事業勘定	24億5,702万円(-16.6%)
	診療施設勘定	1億7,036万円(-29.0%)
後期高齢者医療		2億2,506万円(+3.7%)
介護保険	保険事業勘定	25億8,260万円(-5.9%)
	介護サービス事業勘定	760万円(-29.8%)
■事業会計		
水道事業	収益的収入	5億9,823万円
	収益的支出	5億7,423万円
	資本的収入	9億7,028万円
	資本的支出	10億6,708万円

2号棟2階		
生涯学習課 教育次長兼生涯学習課長兼図書館長兼総合交流センター所長兼B＆G海洋センター所長 戸羽 良一 課長補佐兼生涯学習係長兼教育施設整備室長補佐 小野寺 一典 生涯学習係 副主幹 熊谷 賢 副主幹 佐々木 敦美 主査 佐々木 英治 主査 佐々木 賢也 主任 黒澤 弘(京都市から派遣) 主任 平松 千波(県から派遣) 主事 福原 紗綾香(県から派遣) 主事 菅野 郁恵 学芸員 佐藤 典邦(任期付) 学芸員 増崎 勝仁(任期付) 学芸員 曳地 隆元	教育施設整備室 室長 中山 雅之 主任 福田 香(県から派遣) 主任技師 後藤 修二(名古屋市中から派遣) 主任主事 松井 陽佑(名古屋市中から派遣) 技師 井上 保人(県から派遣) 主事 日山 真吾(県から派遣) 主事 菅原 由紀也 <教育研究所> 主任指導主事 関戸 文則 指導主事 菊池 貴彦 指導主事 千葉 哲朗	学校教育課 課長兼教育研究所長兼学校給食センター所長 熊谷 健司(県教育委員会から派遣) 課長補佐兼管理係長 齋藤 卓 管理係 主任兼学校給食センター主任 佐々木 崇 主事 前角地 邦幸 学務係 係長 鈴木 貴子 主任 保原 良和(県から派遣) 主任兼外国語指導助手(任期付) エガー・ジャスティン・ロバート 主事 村上 祐貴(県から派遣)
総合交流センター(夢アリーナ) 副主幹兼スポーツ推進係長兼総合交流センター所長補佐兼B＆G海洋センター所長補佐 岡渕 貴悦	主任 阿磨 宏(任期付) 主事 伊藤 敏(任期付) 主事 谷地 祐太郎(盛岡市から派遣) 主事 佐藤 哲郎【新採用・任期付】	
小中学校用務員 高田小学校主任用務員 村上 達也 気仙小学校主任用務員 村上 英也 広田小学校主任用務員 佐藤 浩之 小友小学校主任用務員 木川田 隆俊 米崎小学校主任用務員 小林 邦明	矢作小学校主任用務員 千田 あけみ 竹駒小学校主任用務員 村上 淳一 横田小学校主任用務員 佐々木 亮輔 高田第一中学校主任用務員 津田 忠 高田第一中学校主任用務員 菊池 静 高田東中学校主任用務員 細田 寛 高田東中学校主任用務員 及川 克政	
図書館 主事 千葉 君隆(任期付) 司書 元木 香代(任期付) 司書 伊藤 晶子(任期付) 主事 本多 暁子【新採用・任期付】 主任自動車運転手 三浦 昭一		
博物館 主事 浅川 崇典		

2号棟1階		
地域福祉課 民生部長兼地域福祉課長 菅野 利尚 主幹 大和田 浩之(岩手沿岸南部広域環境組合へ派遣) 課長補佐兼地域福祉係長兼社会福祉士 馬場 勝基 地域福祉係 主査 遠藤 聖士(奥州市から派遣) 主査 瀧川 勝彦(大和市から派遣) 主事 加治佐 拓也(武蔵野市から派遣) 障がい福祉係 係長 中川 健司 主事 久保 順平(一関市から派遣) 主事 松野 美樹(任期付) 生活安全係 係長 佐々木 真理 副主幹 千葉 徹(平泉町から派遣) 主任 村上 正一	子ども子育て課 課長 千葉 達 課長補佐兼子育て支援係長 尾形 良一 子育て支援係 主任栄養士 畠山 夕子 主任主事 金野 暢 主事 小川 俊一(県から派遣) 主事 菊地 良尚 子ども家庭係 係長 千葉 祐子 主任 村上 あゆみ 主事 鈴木 広美(任期付) 主事 上野 裕子【新採用・任期付】 包括支援係 係長 武田 知子 副主幹 佐藤 咲恵 主任 佐々木 隆(八幡平市から派遣) 主事 佐藤 隆(任期付) 主事 山下 彩香 保健師 蒲生 紋子 保健師 千葉 春香 保健師 高橋 成美	保健課 民生部次長兼保健課長兼地域包括支援センター所長 千葉 恭一 課長補佐兼保健係長兼地域包括支援センター所長補佐 吉田 志真 保健係 主任保健師 菊池 文(一関市から派遣) 主事 赤穂 満(県から派遣) 主事 鈴木 礼子(任期付) 主事 及川 真由美(任期付) 保健師 蒲生 恵美 保健師 養島 さやか(任期付) 保健師 遠藤 綾子 保健師 村上 有紗 保健師 水野 愛美 保健師 藤井 歩美(任期付) 保健師 佐藤 沙希

長部保育所 所長 佐々木 美恵子 主任保育士 佐々木 宏枝 主任保育士 山田 美加 主任保育士 伊藤 真知子 主任保育士 菅野 陽子 保育士 村上 望美(任期付) 主任調理員 村上 ちえ子	小友保育所 所長 藤井 貴美 主任保育士 菅野 香 主任保育士 村上 雪絵 主任保育士 さおり 主任保育士 菅野 裕美子 主任保育士 白山 理奈 保育士 佐藤 泰子 保育士 佐藤 志帆	高田保育所 所長 山本 郁夫 副所長 菅野 京子 主任保育士 熊谷 公子 主任保育士 吉田 和枝 主任保育士 熊谷 由加 主任保育士 中野 亜紀 主任調理員 村上 由紀	主任保育士 佐々木 めぐみ 主任保育士 松田 純枝 保育士 吉田 恵 保育士 佐々木恵里(任期付) 保育士 熊谷 千春 保育士 川島 瑞穂 保育士 佐藤 颯太 保育士 佐々木 遥(任期付) 主任調理員 佐藤 夕子
--	---	--	--

1号棟2階		
理事兼総務部長 須賀 佐重喜		
総務課 課長兼選挙管理委員会事務局長 伊藤 芳光 課長補佐兼行政係長兼選挙管理委員会事務局長補佐 及川 晃一郎 行政係 主事 志賀 祐太(一関市から派遣) 主事 蒲生 夏生 主事 岩脇 史絵【新採用】 職員係 係長 熊谷 直樹 主事 菅野 文博 主事 田村 結	財政課 総務部次長兼財政課長 村上 幸司 課長補佐兼管財係長 菅野 優 管財係 主事 遠野 正隆 主事 佐々木 雄(任期付) 主事 小田 真美 主事 熊谷 聡(任期付) 主事 大和田 奈緒子【新採用】 主事 金野 一彦【新採用・任期付】 財政係 係長 佐々木 伸哉 係長 小泉 剛志 主任 佐藤 慶至(県から派遣) 主事 中山 竜一 主事 菅野 竜児 主事 熊谷 春花	企画政策課 企画部長兼企画政策課長 佐藤 伯一 課長補佐兼政策推進係長 黒澤 裕昭 政策推進係 政策推進主査 大林 孝典 主任 上野 敏弘(県から派遣) 主事 高橋 純基 秘書係 係長 古館 俊一 主事 佐藤 麻衣

1号棟1階		
税務課 課長 高橋 良明 課長補佐兼資産税係長 金濱 幹也 資産税係 主査 今西 隆文(松阪市から派遣) 主査 玉木 進(神奈川県から派遣) 主査 小野寺 恵一(一関市から派遣) 主任主事 阿部 将人 主事 菊地 光志(奥州市から派遣) 市民税係 係長 菅野 雅彦 主査 佐藤 俊之(一関市から派遣) 主査 佐藤 正利(一関市から派遣) 主事 山上 秀利(県から派遣) 主事 大坂 和信(任期付)	会計課 会計管理者兼会計課長 岩崎 利行 課長補佐 渡邊 雅宏 主査 渡辺 美香(奥州市から派遣) 主査 佐藤 彰 主事補 畠山 連穂 収納係 係長 戸羽 謙一 主事 阿部 聡(県から派遣) 主事 沼田 修一(任期付)	市民課 課長 細谷 勇次 課長補佐兼国保係長 臼井 秀子 国保係 主事 瀬脇 幸香(県から派遣) 主事 高橋 絵里(任期付) 主事 大和田 沙織 市民係 係長 村上 利恵子 主任 田中 浩二(我孫子市から派遣) 主事 岡澤 由美子(任期付) 主事 村上 裕太 主事 熊谷 麻衣 主事 横山 千佐 主事補 菅野 玲奈(任期付) 主任 佐藤 好信(短時間) 介護保険係 係長 阿部 景子 主事 菊田 育子(任期付) 主事 山本 摩耶 主事 吉田 悠(気仙広域連合へ派遣) 主事 柴田 一枝【新採用・任期付】
二又診療所 所長 石木 幹人 看護師 高橋 恵美子(任期付) 看護師 藤原 奈美 主事 菅野 絢子	広田診療所 所長 岩井 直路 副主幹 熊谷 紅子 看護師 鈴木 菜央美 主事 高橋 拓也	
学校給食センター 主任栄養士 佐藤 絵里 栄養士 永山 智絵 主事 細谷 怜史		

部長級の昇任



民生部次長兼保健課長兼地域包括支援センター所長

千葉恭一(49)

課長級の昇任



監査委員事務局長
大友真也(42)



復興局市街地整備課主幹兼課長補佐
高橋宏紀(43)

4号棟2階			
市街地整備課 復興局長兼市街地整備課長 熊谷 正文 主幹 鈴木 明廣 （名古屋市中から派遣） 主幹兼課長補佐 高橋 宏紀 課長補佐兼区画整理係長 青山 豊英 区画整理係（今泉地区） 主任 東中 昌也 （茅ヶ崎市から派遣） 主任 遠藤 智嗣 主任技師 岡安 秋弘 （名古屋市中から派遣） 主任技師 長野 貴治 技師 澁谷 光男 （県から派遣） 技師 松井 宏充 （名古屋市中から派遣） 主事 伊藤 正（任期付） 主事 柿澤 良昭 （茅ヶ崎市から派遣）	区画整理係（高田地区） 係長 佐藤 賢 主査 福田 稔 （神奈川県から派遣） 主査 池田 博行 （神奈川県から派遣） 主査 千葉 敏史 （県から派遣） 主任 鵜澤 信太郎 （県から派遣） 主任技師 渡辺 博幸 （名古屋市中から派遣） 技師 高橋 祐一 （県から派遣） 技師 奥園 航祐 （福岡市中から派遣） 技師 飛内 昭人【新採用】 用地係 副主任兼用地係長 泉山 力男 （県から派遣） 主査 松永 恒 （神奈川県から派遣） 主事 佐藤 嘉嗣（任期付） 主事 佐藤 綾	水産課 課長 菅野 泰浩 課長補佐 小笠原 淳 主査 広瀬 宜則 （神奈川県から派遣） 主査 穂坂 裕行 （神奈川県から派遣） 主任 村上 智人 主任主事 金野 幸浩 技師 小野寺 涉 主事 齋藤 真希 （県から派遣） 主事 三浦 淳 林政係 副主任兼林政係長 菅原 正弘 副主任 佐野 智一 （東北森林管理局から出向） 副主任 菅野 光二 主任 阿部 和也 （県から派遣） 主事 森 菜々子（任期付） 主事 岸 和也【新採用】	農林課 農林水産部長兼農林課長 千葉 徳次 課長補佐兼たかたのゆめ係長 村上 聡 たかたのゆめ係 主任主事 熊谷 剛 主事 梶原 明 （任期付） 農政係 係長 大和田 智広 副主任 小野寺 健 （一関市中から派遣） 主査 野寄 一雄 （神奈川県から派遣） 主査 鈴木 真実 （一関市中から派遣） 主任 富松 大地 （花巻市中から派遣） 主任技師 及川 麻美 主事 片山 俊介 （盛岡市中から派遣） 主事 鎌田 李奈

4号棟1階			
建設課 課長兼幹線道路対策室長 菅野 誠 課長補佐兼管理係長兼幹線道路 対策室長補佐 村上 充 管理係 主事 住吉 国男（任期付） 主事 菅野 傑（任期付） 道路河川係 係長 伊藤 肇 主査 山内 純 （京都市から派遣） 主査 齋藤 邦彦 （神奈川県から派遣） 主任技師 小出 涼介 （名古屋市中から派遣） 技師 鳥居 寿人 （県から派遣） 主事 徳本 泰久 （県から派遣） 主事 中村 宏 （県から派遣） 主事 新田 武広 （復興庁から派遣） 主事 大友 浩人 （県から派遣） 技師補 熊谷 祐輝【新採用】	水道事業所 所長 熊谷 完士 所長補佐兼工務給水係長 及川 浩 工務給水係 副主任 西浦 弘揮 （和歌山市から派遣） 主査 小島 淑寿 （一関市中から派遣） 主任技師 石川 文男 （奥州市から派遣） 主任技師 深尾 剛司 （名古屋市中から派遣） 技師 高橋 忠彦 （任期付） 業務係 係長 大和田 昌利 主査 佐々木 武晴 主任 金野 隆博 主任 吉田 保永 主事 佐藤 広樹 住宅推進係 係長 畠山 幸也 技師 水野 竜一 技師 及川 拓真 （県から派遣）	農業委員会 局長 伊藤 真基 局長補佐 黄川田 芳昭 主査 藤原 忠善 （神奈川県から派遣） 主事 菅野 圭裕 被災者支援室 主査 吉田 幸喜 主任 寺西 達生 （県から派遣） 主事 菅原 雅江 （任期付） 主事 花田 咲香 （盛岡市中から派遣）	復興推進課 課長兼被災者支援室長 村上 弘人 課長補佐兼事業推進係長 石川 浩 課長補佐兼計画係長兼被災者 支援室長補佐 佐々木 学 事業推進係 主査 寺井 秀樹 （神奈川県から派遣） 主事 小松 公輔 計画係 主事 生内 浩司 （県から派遣） 土地利用係 係長 石川 祐也 主査 西城 崇 （神奈川県から派遣） 主事 佐久間 修 （任期付）

【退職者】（3月31日付）		民生部地域福祉課主事（任期付）	
企画理事（再任用）	菊 池 満 夫	高田保育所保育士（任期付）	藤 野 大
農業委員会事務局長	大和田 正	高田保育所保育士（任期付）	熊 谷 奈 美
長部保育所長	佐 藤 修 子	小友保育所保育士（任期付）	船 田 千 尋
民生部市民課介護保険係長	後 藤 由香利	会計課主事（任期付）	村 上 美 優
復興局復興推進課事業推進係長	菅 崎 貴 栄	教委教育施設整備室主任（任期付）	新 沼 美 紀
総務部税務課主任主事	水 野 慎	小友保育所調理員（任期付）	毛 利 俊 雄
			戸 羽 逸 子

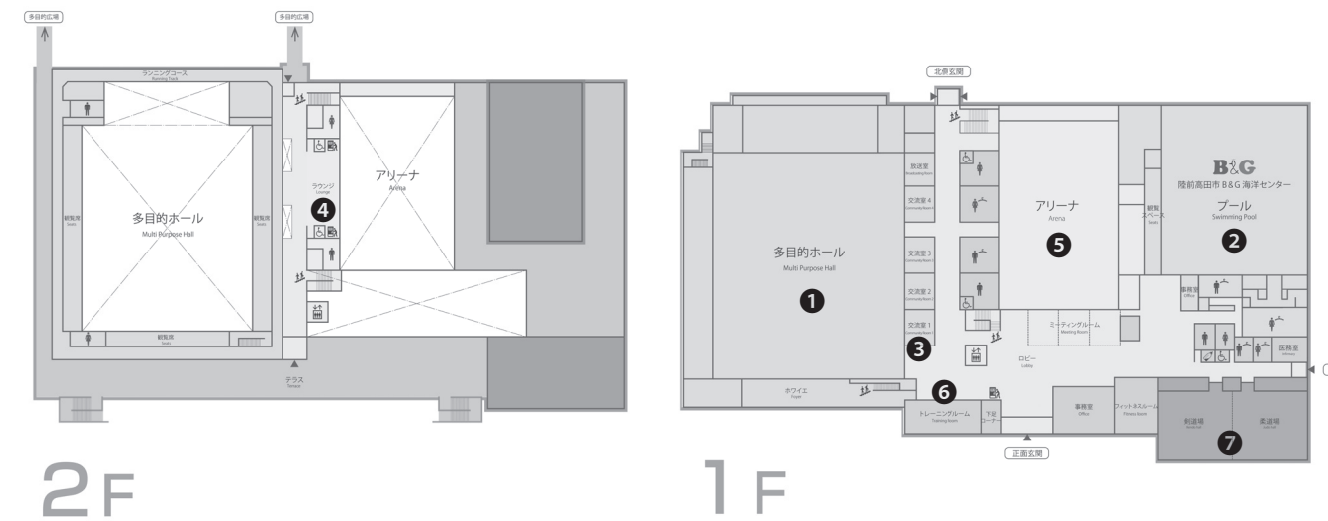
3号棟2階			
議会事務局	局長 佐藤 由也	局長補佐 菅野 洋	主任 石川 聖恵 書記 佐藤 直樹

3号棟1階			
都市計画課 建設部長兼都市計画課長 阿部 勝 課長補佐兼下水道係長 山口 透 下水道係 主任技師 新沼 和人 主事 菅野 大樹 主事 出沼 与夢 （県から派遣） 主事 藤野 圭太 （一関市中から派遣） 技師 千田 顕彦 （再任用） 計画係 係長 永山 悟 主任 若林 謙一郎 （県から派遣） 主任 石井 格二 （県から派遣） 主任 佐藤 恵子	監査委員事務局 局長 大友 真也 書記 新沼 都 選挙管理委員会事務局 選挙係 係長 熊谷 卓 主任技師 鈴木 貴樹 主事 田添 裕司 （県から派遣） 主事 田畑 晶子 （任期付） 主事 長崎 翔太 （県から派遣） 主事 志田 一朗 技師 今野 拓也 技師 山崎 仁巳 （県から派遣）	まちづくり戦略室 室長 熊谷 重昭 室長補佐 佐藤 勝也 主査 阿部 秀一 （大和市中から派遣） 主任 菅野 隼 主任主事 小野 勝彦 主事 佐藤 秀則 （任期付） 主事 田宮 一樹 主事 田村 美結 企業支援係 係長 望月 孝 主任 中山 雅彦 （奥州市から派遣） 主事 松坂 典子 （任期付）	商工観光課 課長 村上 知幸 課長補佐兼商工労働係長 村上 幸義 商工労働係 主査 丸岡 正則 （鹿角市中から派遣） 主事 松田 秀樹 （任期付） 主事 安達 悠治 （名古屋市中から派遣） 観光交流係 係長 畠山 拓也 主任 水野 和人 （住田町から派遣） 主事 吉田 ゆう子 （任期付） 主事 北島 善太郎

消防防災センター			
防 災 課 防災局長兼防災課長兼消防防災 センター所長 堺 伸也 防災対策監課長補佐 中村 吉雄 消 防 本 部 消防長 平 立身 消防司令兼消防次長 兼消防署長 村上 信幸 消防司令兼警防係長 兼消防署副署長 戸羽 進 消 防 署 管理係 消防司令補兼係長 黄川田 英児 消防司令補兼主任 長尾 英樹 消防司令補兼主任 村上 桂一 消防士長 後藤 道治 消防士長 松坂 享 消防副士長 芳野 亮人 消防士 佐藤 宏樹 消防士 金野 晴樹 消防士 新沼 心	副主幹 佐々木 清敏 主任主事 山川 雅也（名古屋市中から派遣） 主事 小野寺 伸幸（任期付） 主事 小澤 巧 消防司令補兼予防係長 岡田 雅彦 消防司令補兼通信指令係長 及川 貴美人 消防司令補兼管理係長 丹野 賢 消防副士長 菅野 裕樹（県防災航空隊へ派遣） 警防係 消防司令補兼係長 小松 勲 消防司令補兼主任 佐藤 浩樹 消防司令補兼主任 岡渕 健悟 消防士長 伊藤 章尋 消防士長 村上 祐二 消防士長 榎藤 雄 消防士長 金野 剛憲 消防士 志田 泰晟 消防士 鈴木 宏斗	予防係 消防司令補兼係長 佐々木 秀樹 消防司令補兼主任 熊谷 欽也 消防司令補兼主任 戸羽 一将 消防士長 佐藤 浩二 消防士長 菅野 伸 消防副士長 新沼 宜徳 消防副士長 遠藤 翼 消防副士長 臺 和敬 消防副士長 菅野 祥之 消防士 荻原 拓也	

▶総務課…嘱託員＝三浦三枝子、熊谷絵梨奈、菅原美沙	支援区分認定調査員＝村上香奈、コミュニケーション支援員＝菅野愛海	▶博物館…館長＝大久保裕明、学芸員＝荒木優、資料管理員＝砂田亨、熊谷秀子、紺野光、佐藤通修、荒木美智代
▶税務課…徴収嘱託員＝新沼敦、収納嘱託員＝石川織枝、嘱託員＝佐々木幸枝	▶子ども子育て課…児童発達支援管理責任者＝前田貴子、児童発達支援指導員＝小泉宏美、村上尚子、ひとり親支援員＝中山彩、子育て相談員＝菅原実黄子、鈴木菜、家庭婦人相談員＝大沢田ひろ子、専任少年補導委員＝伊東睦男	▶図書館…嘱託員＝熊谷瑠理、松本麻以、齊藤彩佳
▶保健課…健康相談員＝松野京子、畠山ちえみ、介護予防指導員＝菊池朝子、介護予防指導補助員＝菅野麻美、介護支援専門員＝鈴木早矢香、浦嶋愛美、生活支援コーディネーター＝金野康子	▶市民課…レセプト点検員＝丸岡步、佐藤未来、要介護認定調査員＝角掛浩子、菅野行江、山田邦子	▶学校教育課…学校教育相談員＝吉家秀明、適応支援員＝菅野みゆき、図書教育指導員＝村中聖樹、特別支援教育指導補助員＝鈴木恵子、佐藤健一、及田富美子、遠藤勝枝、戸羽純子、志賀一弘、佐藤孝子、滝田恵美、菅野美枝、荒木恵子、村上明美、村上彬奈、千葉翔子、菅野有沙、佐藤江里香、吉田由佳、伊藤倅汰
▶広田診療所…嘱託看護師＝加藤和枝、新沼千尋	▶二又診療所…嘱託看護師＝荒澤裕子	
▶地域福祉課…監査指導専門員＝松坂和彦、障害		

■総合交流センター平面図・内観写真



①多目的ホール



②B & G海洋センター・プール



③交流室



④ラウンジ



⑤アリーナ



⑥トレーニングルーム



⑦柔道場・剣道場

陸前高田市総合交流センター・陸前高田市B & G海洋センター

「夢アリーナたかた」4月10日に開館



◆住所…陸前高田市高田町字太田5番地
◆敷地面積…約45,653㎡、延床面積…10,591㎡

■総合交流センター使用料 (単位:円/時間)

区分 (入場料なしの場合)			貸し切り使用			区分使用 (施設の一部)		
			9~12時	12~17時	17~21時	9~12時	12~17時	17~21時
多目的ホール	アマチュアスポーツ等	小中高生	330	500	830	110	170	280
		一般	660	990	1,650	220	330	550
	その他		1,320	1,980	3,300	440	660	1,100
アリーナ	アマチュアスポーツ等	小中高生	220	330	830	70	110	180
		一般	440	660	1,100	140	220	360
	その他		880	1,320	2,200	280	440	720
柔道場		小中高生	110	170	220			
		一般	220	330	440			
剣道場		小中高生	110	170	220			
		一般	220	330	440			
フィットネスルーム		小中高生	200	200	250			
		一般	400	400	500			
交流室			300	300	400			
ミーティングルーム			150	150	180			
ステージのみ			220	330	440			
トレーニングルーム (1回当たり)	小中高生		110					
	一般		220					
多目的広場 (1日あたり)	広場1		3,600					
	広場2		16,500					

※入場料を設定する場合や営利目的で使用する場合には、使用料が変わります。詳しくはお問い合わせください。
※加算使用料 (休日等使用、照明灯料、冷暖房料・電気料、設備器具使用料) が別途生じる場合もあります。

■B & G海洋センター使用料 (単位:円)

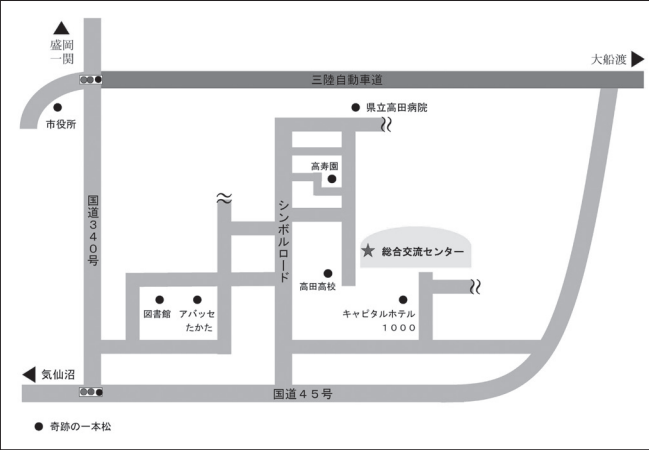
区分	幼児 (3歳以上)	小学生	中学生 高校生	一般
普通使用 (1人1回につき)	100	200	300	500
回数使用 (12回につき)	1,000	2,000	3,000	5,000
団体使用 (1人1回につき)	70	140	210	350

※団体=20人以上が同一の引率者に引率された者



4月10日の市総合交流センターの開館に伴い、施設の使用料や位置などについてお知らせします。同日午前9時からは開館記念式典の開催を予定しています (B & G海洋センターは5月中に利用開始予定です)。
◆予約・問い合わせ先…市総合交流センター ☎ 0192 (22) 8448

■位置図



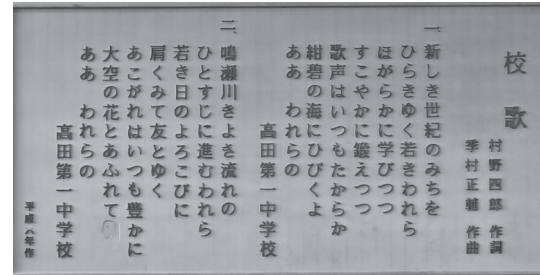


第一中学校閉校式

幕を閉じる53年の校史
伝統と震災を忘れず、新たなスタート



平成18年から利用されている第一中学校の校舎



- 校 長 小野寺哲男
- 創立 昭和40年
- 生徒数 246人
- 校訓「明朗 自主 創造」
- 卒業生 8,013人



小野寺校長に校旗を手渡した生徒会長の村上慶君



6人の代表生徒がこれまでの行事の思い出や伝統、震災後の歩みなどを発表しました



閉校式の最後には全校生徒で校歌を斉唱

高田第一中学校 ＜校章デザイン＞



- ・新学区（矢作町、横田町、竹駒町、気仙町、高田町）の5区を五角形の星形をベースに構成して伝統と永続性を表現
- ・高田第一中学校の「一」を、5地区を流れる悠久気仙川に見立て、輪（和）にして、地域の友愛と絆の象徴
- ・中学校の「中」を市の象徴力モメに見立て、希望の天空へ羽ばたく躍進をイメージ

第一中学校の閉校式は3月19日、同校体育館で行われました。

閉校式には、全校生徒や教職員、学校関係者など約300人が出席。金賢治教育長は告辞で「皆さんには、夢を抱き、未来を見つめてほしい。第一中の校風や伝統を心に宿しつつ、4月から開校する高田第一中学校の新しい校風を多くの仲間と心を合わせながら作り上げてほしい」と呼びかけました。小野寺哲男校長はあいさつの中で、生徒たちが「恩送り」という考えのもとで活動してきたことに触れ、「自分たちの活動を応援してくれる多くの人に心から感謝

し、さまざまな活動にやりがいと充実感を持ち取り組んできた。新たな高田第一中学校でも、地域に愛される学校として歩みを進めてほしい」と期待を込めました。

生徒代表の6人がこれまでの出来事や思い出を語り、「閉校は終わりではない、新たなスタート」と力強く話し、全校生徒で童謡「ふるさと」を合唱。校旗返納が行われ、校歌斉唱で閉校式が締めくくられました。

平成30年4月に第一中と気仙中、先行統合した横田中の計3校が統合し、西側地区の新設校「高田第一中」として新たな歴史の幕を上げます。

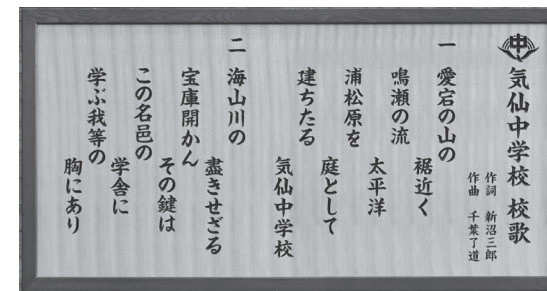
気仙中学校・第一中学校 それぞれの伝統を胸に 新しい一歩

平成30年4月から「高田第一中学校」として統合し、新たなスタートを切った気仙中学校と第一中学校。それぞれの学校で閉校式が行われ、卒業生や生徒一人一人がこれまでの思い出や伝統を胸に、母校への別れを告げました。



気仙中学校閉校式

地域と共に過ごした71年
たくさんの感謝を胸に、母校に別れ



- 校 長 熊谷佳美
- 創立 昭和22年
- 生徒数 50人
- 校訓「賢く 優しく 遅しく」
- 卒業生 5,484人



気仙中学校は、東日本大震災津波により校舎が全壊したため、平成23年4月から旧矢作中校舎を利用してきました



式後に行われた「思い出を語る会」で伝統の気仙町けんか七太鼓を披露する生徒たち



気仙中の校旗が生徒代表の千葉大輝君、熊谷校長から返納されました



閉校式の最後には出席者全員で校歌を斉唱しました

気仙中学校の閉校式と思い出を語る会は3月21日、矢作町の同校で行われ、地域と共に過ごした気仙中71年の歴史に思いをはせました。

閉校式には、全校生徒のほか、卒業生や学校関係者ら約180人が出席。戸羽太市長は「これまで築き上げられてきた歴史と伝統は未永く受け継がれていく。伝統ある気仙中で学んだことに誇りを持ち、次の世代を担う若者としてさらに精進を重ねてほしい」と式辞を述べました。

「別れの言葉」では、生徒会長の宮城彩月さん（2年）が、震災遺構として残される憧れの白亜の旧校舎への思いを語りながら、「矢作町は私たちの大切な古里。たくさんの方々に見守られ、この校舎で楽しく過ごした7年の学校生活を忘れることはない。気仙中71年の歴史と伝統を胸に刻み、新たな扉を開いていく」と力強く誓いました。

校旗返納では、生徒代表の千葉大輝君（3年）から熊谷佳美校長へ、熊谷校長から金賢治教育長へ校旗が手渡されました。最後は全員で校歌を斉唱し、気仙中はその歴史の幕を閉じました。

地域包括
支援センター発！

介護お茶のみ話

その41



高齢者が気軽に交流できる
場づくりを支援します！

「高齢者交流サロン運営
事業補助金」って？

地域に高齢者の居場所をつ
くり、積極的に交流を図るこ
とは、自分自身の介護予防や
皆で支え合う地域づくりにつ
ながります。

市は、高齢者の皆さんが、
身近な場所で気軽に集まり活
動する「高齢者交流サロン」
に対し、運営に必要な費用の
一部を助成します。

◆補助対象者…高齢者交流サ
ロンの運営に取り組む団体や
個人（サロンの参加者は、市
内に住んでいる65歳以上の人
である必要があります）

※他の補助金などを受けてい
る活動は該当になりません。

◆開催場所…各地区の公民館
や個人の家など「高齢者が集
まりやすく、継続した開催が
できる場所」

◆補助要件…①開催頻度が月
1回以上②開催時間が1回あ
たり2時間以上③代表者を定
めること

◆活動内容…特に定めなし
※例として、学習会や運動、
レクリエーション、農園作業、
調理・会食、お茶のみなど

◆助成金額

①運営費…1回の開催につき
千円（月2回までが上限）

②会場貸借料…1月当たり上
限5千円

◆申請方法…運営方法や活動
内容を記入の上、各種様式を
提出

◆申し込み・問い合わせ先…
地域包括支援センター（市
役所保健課包括支援係・内線
248）



むしばのない子あつまれ！

（2月26日・3歳6カ月児健診で虫歯のなかった子）

434

保健
だより

がん検診について

がんは、日本人の死因第1
位で「3人に1人が『がん』
で死亡している」といわれて
います。陸前高田市での死因
第一位も『がん』です。男女
別では、男性は肺がん、胃が
ん、大腸がんの順で亡くなる
人が多く、女性は胃がん、肺
がん、大腸がんの順となっ
ています。

●早期発見・早期治療が重要

「がん」になる原因として、
喫煙や飲酒、肥満、肝炎ウィ
ルス感染、ヒトパピローマウ
イルス感染などが明らかにな
っていますが、半数以上の人
については原因がわかってい
ません。そのため、定期的に
がん検診を受診し、早期に発
見することが大切です。

●がん検診の種類

市は、次のとおりがん検診
を実施しています。

【40歳以上対象】

①胃がん検診…胃部X線撮影
②肺がん検診…胸部X線撮影
③大腸がん検診…便潜血検査
【女性のみ対象】

④乳がん検診（40歳以上）…乳
房X線撮影

⑤子宮頸がん検診（20歳以上）
…子宮頸部細胞診
【男性のみ対象】

⑥前立腺がん検診（50歳以上）
…血液検査

※①③⑥は毎年、④⑤は
2年に1回実施

●がん検診の申し込み

市は、4月中旬に対象とな
る人へ「各種検診申込書」を
送付します。がん検診の受診
を希望する人は、所定の欄に
必要事項を記入し、保健課ま
で提出ください。

◆問い合わせ先…市役所保健
課保健係（内線241）

民泊修学旅行シーズン始まります！

おかげさまで陸前高田民泊修学旅行の受け入れが
3年目を迎えました。今年は6校、延べ1,600人の
中高生が陸前高田を訪れます。市内の受け入れ家庭
の数も200軒を超え、県内外問わず、陸前高田民泊
への関心が高まってきました。

生徒自身が地域に直接入ることができる民泊体験
は、生徒の自主性を育みます。生徒さんからは「星
空を見ることが楽しみ！」「一緒にご飯を食べてみ
たい！」「花火をやってみたい！」などの声が。民
泊をしている生徒を見かけたら、地域で温かく迎え
入れてあげてください。

民泊の受け入れは気軽に1回からでも大丈夫です。
ライフスタイルに民泊を取り入れてみませんか？

◆問い合わせ先…マルゴト陸前高田☎0192(22)7410
または市役所商工観光課観光交流係（内線386）

■本年度の修学旅行生の受け入れ予定

学校名	日程	人数
浦賀中学校（神奈川県）	5月15日（火）～17日（木）	308人
三山中学校（千葉県）	5月31日（木）～6月1日（金）	93人
明星学園・中学校（東京都）	7月3日（火）～5日（木）	105人
厚木清南高校（神奈川県）	9月28日（金）～29日（土）	44人
新栄高校（神奈川県）	10月16日（火）～18日（木）	360人
川崎高校（神奈川県）	10月24日（水）～26日（金）	30人

一平成29年度教育功労者一

2月10日に行われた生涯学習のつどいで、長年にわたり市の教育や学術、文化の向上に貢献した人を表彰しました。

◆社会教育功労 ^{うわべ} 上部 ^{しゅういち} 修一さん
平成17年4月から29年3月まで竹駒公民館長として、地域の社会教育の振興に貢献されました。

◆社会体育功労 ^{いたばやし} 板林 ^{みのる} 実さん
昭和55年から野球審判員として、各種大会の運営や後任審判員の養成に尽力されました。

◆社会体育功労 ^{おやま} 小山 ^{こうき} 公喜さん
昭和61年から平成29年まで市サッカー協会会長、平成元年から23年までは市ラグビー協会会長として、育大会に14回出場するなど、ソフトテニス競技の地域のスポーツ振興に貢献されました。

◆社会体育功労 ^{おうみ} 近江 ^{まさき} 雅喜さん
ソフトテニス競技の監督や選手として、国民体

Library

図書館情報

☎0192(54)3227

図書館では、ゴールデンウィーク期間中(4月28日(土)～30日(月)、5月2日(水)～6日(土))は連日開館し、どなたでも楽しめるさまざまなイベントを開催します。

「こどもの読書週間」関連行事

4月23日から5月12日までの「こどもの読書週間」に合わせた、読書の楽しい世界が広がるような関連行事を開催します。子どもから大人までどなたでも無料で自由に参加できます。

1 「としょかんスペシャルおはなし会」

読み聞かせを通して物語の世界をじっくりと楽しむ時間と、在札幌米国総領事館ハービー・ビーズリー領事による英語での読み聞かせの時間の2部構成です。

◆日時…4月29日(日)、午後1時半～2時半

◆場所…アバッセたかた・パブリックスペース



昨年7月20日の新図書館開館日に開催した、在札幌米国総領事館首席領事による英語のおはなし会の様子

2 「本と映像で宇宙を知ろう！」

JAXA(宇宙航空開発研究機構)のロケットの打ち上げや宇宙の映像を上映します。また、図書館では宇宙についての本を特集展示します。

◆日時…4月30日(月)、①午前10時半～正午②午後1時半～3時
※6種類の映像をそれぞれ1回ずつ上映します。

◆場所…アバッセたかた・パブリックスペース

◆定員…先着50人



2月の「図書館手芸講座」の様子

こどもの日スペシャル行事

「としょかんわくわくおはなし会」

大型絵本やパネルシアターなどを使う特別なおはなし会です。年齢にかかわらず、どなたでも参加できます。

◆日時…5月5日(土)、午後2時～3時

◆場所…アバッセたかた・パブリックスペース

生涯学習情報

はまらっせあ



託児ボランティアを募集します

市教育委員会は、子育て中の人の社会参加を支援するため、託児ボランティアを募集しています。子どもが好きな人であれば、資格や性別に関わらず誰でも申し込めます。

登録をしていただいた人には、託児ボランティアが必要な場合に生涯学習課から協力依頼の連絡をします。都合の良い日程で、協力できる場合の参加で大丈夫です。多くの皆さんの応募をお待ちしています。

◆内容…生涯学習課の事業(乳幼児学級や講演会など)に保護者が参加している間、子どもを別室でお世話

※初めての人向けのボランティア講習会も実施する予定です。

①乳幼児学級(0～3歳位までの子どもの保護者が学ぶ学級)

依頼回数…年に5回程度

依頼時間…平日午前中の1時間半程度

②生涯学習課主催の講演会など

時期や依頼時間は未定(託児時間は1時間半程度)

◆申込期限…4月27日(金)

◆申し込み・問い合わせ先…市教育委員会生涯学習課生涯学習係(内線255)



託児ボランティアの様子

たかた子どもキャンパスのサポーターを募集します



たかた子どもキャンパスの様子

市教育委員会は、市内の小学生を対象に学習や体験ができる活動や地域交流などの機会をつくり、子どもたちの豊かな成長を支援する「たかた子どもキャンパス」のサポーターを募集しています。

「自分の住んでいる地域で活動したい」「年に数回時間が空いているときだけ活動したい」「日中の1～3時間だけ活動したい」という人など、興味のある人は「たかた子どもキャンパス」のサポーターとして、一緒に活動しませんか。

◆内容…活動中の子どもたちの見守りや会場準備など

◆申し込み・問い合わせ先…市教育委員会生涯学習課生涯学習係(内線254)



ミニゲーム形式で大学生とプレーする子どもたち

東京六大学バスケットボールリーグ戦

ハイレベルなプレー間近に観戦

東京六大学バスケットボールリーグ戦は3月16日から18日まで、市総合交流センターで開かれました。このイベントは、同センターの開館プレイベントとして実現。明治、早稲田、慶応、立教、法政、東京の各大学が総当たり戦で真剣勝負を繰り広げ、集まった観客は大学生のハイレベルなプレーに魅了されました。また、試合の合間には気仙地域の小中学生との交流会や車いすバスケの体験会が開かれ、参加者は大学生との交流を楽しみました。

陸前高田グローバルキャンパスシンポジウム

故郷の未来中高生の視点で議論

陸前高田グローバルキャンパス（旧米崎中学校）を拠点に本年度行われた様々な活動の成果を発表するシンポジウムが3月3日・4日の両日、グローバルキャンパスで行われました。ジャムセッション「陸前高田そして気仙の未来を語る」では、気仙地区の中高生や移住者の若者ら約50人が参加。交流施設の整備や公共交通の充実、地域情報の有効な伝達手段など、地域の課題に対して今取り組めることを議論、提案し合いました。



ジャムセッションで地域の課題について話し合う参加者ら

みんなの夢A W A R D in陸前高田

市内に活気を起業の夢プレゼン

市のビジネスプランコンテスト「みんなの夢A W A R D in 陸前高田」は3月17日、コミュニティホールで開かれ、雇用や交流人口の拡大に向けた起業の夢を市内外の7人が熱く語りました。発表内容は、地元農林水産物を生かした商品販売、スポーツを通じた観光産業の創出などさまざま。グランプリには、リハビリテーションを軸とした健康づくりと所得増大について語ったロッツ㈱代表の富山泰庸さんが輝きました。



結果発表を待つ7人のファイナリスト



卒業生一人一人が中学校生活の思い出を語りました

市内小中学校で卒業式

新しい一歩を踏み出した307人

市内小中学校の卒業式は3月13、14、16、17、20日にそれぞれ行われました。気仙中学校(熊谷佳美校長、生徒50人)では3月13日、気仙中として最後の卒業式が行われ、保護者や先生、在校生らに見守られ卒業証書を受け取った卒業生18人は気仙中の伝統と誇りを胸に、新たな夢や目標に向かって学びやを巣立ちました。今年の市内小中学校の卒業生は小学校が8校138人、中学生が3校169人でした。



アバッセたかたで披露されたミスさんさによる盛岡さんさ踊り

三陸伝統芸能フェスティバル2018

地域の魅力あふれる音や踊り

三陸伝統芸能フェスティバル（幸せ出ずる国いわて実行委員会主催）は3月18日、コミュニティホールとアバッセたかたで行われ、県内各地の伝統芸能の華麗な舞や演奏が披露されました。コミュニティホール会場には、盛岡さんさ踊りや二子鬼剣舞など県内4団体と金成百姓踊りや赤磯太鼓などの市内4団体が出演。約300人の来場者は、地域の文化を伝える踊りや力強い太鼓の響きに酔いしました。

介護予防教室ふりかえり交流会

健康寿命伸ばすため楽しく活動

介護予防教室ふりかえり交流会は3月16日、コミュニティホールで行われ、介護予防教室の参加者など約250人が参加しました。交流会は今年で3回目の開催。自主的な健康づくりに取り組んだ2団体への表彰や介護予防サポーターによるレクリエーション、各教室のふりかえり報告や発表が行われ、交流会の最後には「気の合う仲間をつくりましょう」など7カ条からなる健康長寿の心得を唱和し、健康への意欲を高めました。



介護予防サポーターなどがオープニングダンス「長生きサンバ」を披露しました

慶 弔(2月16日～3月15日届け出分)

※届け出人が希望した人のみ掲載

◇おめでた()は保護者・字名

◎女の子

高田	すえみね 末峰 玲	はじめ (肇・西和野)
小友	はたけやま 畠山 奈々	つかさ (司・中西)
	さとう 佐藤 佑菜	ゆうき (佑樹・瀬沢)
広田	うすい 臼井 志穂	きょうへい (恭平・大久保)

◇お幸せに()は字名

高田	いとうともや 伊藤友哉・菊池沙也加	裏田
広田	さとうじゅんべい 佐藤潤平・川村真祐	田端

◇おくやみ()は年齢・字名

矢作	おじま 小島 宮子	(79歳・元屋敷)
	ふじくら 藤倉 勇祐	(88歳・湯漬畑)
	なかだいら 中平 昌藏	(86歳・中平)
横田	ちば 千葉 幸子	(87歳・銭洞)

気仙	おかもと 岡本 アイ子	(96歳・双六)
	かんの 菅野 邦子	(67歳・上長部)
	おいかわ 及川 恒子	(78歳・愛宕下)
	すがわら 菅原 満	(79歳・川口)
高田	いとう 伊藤 ミツヨ	(92歳・東和野)
	むらかみ 村上 春子	(82歳・洞の沢)
	ほし 星 アヤコ	(95歳・東和野)
米崎	おの 小野 文男	(84歳・脇の沢)
	よしだ 吉田 ハルコ	(98歳・脇の沢)
	きかわだ 黄川田 果歩	(6歳・高畑)
	ほし 星 研二	(78歳・松峰)
小友	うえの 上野 キヨ	(87歳・上の坊)
	きかわだ 黄川田 敦子	(85歳・沢辺)
広田	よしだ 吉田 孫治	(93歳・長船崎)
	さとう 佐藤 キヨ子	(94歳・長船崎)
	はたけやま 畠山 ヤス子	(83歳・平畑)
	いせ 伊勢 君子	(80歳・後花貝)

数字で見る陸前高田市(平成30年2月28日現在)

市内の火災救急活動(2月) ()は1月からの累計

◆建物	0件 (1件)
◆林野など	1件 (1件)
◆出動件数	82件 (168件)
◆搬送人員	81人 (163人)

市の人口(住民登録人口) ()は前月比 出生・死亡者数は2月分

男性	9,453人 (－ 3人)
女性	10,057人 (－ 21人)
計	19,510人 (－ 24人)
	(出生 4 死亡 20)
世帯数	7,605世帯 (－2世帯)

市内の交通事故(2月) ()は1月からの累計

◆人身事故	1件 (1件)
◆物損事故	33件 (72件)
◆負傷者	1人 (1人)
◆死亡者	0人 (0人)
◆飲酒運転	1人 (1人)



(655)

民 譚

―あわず沼―

(1)

大船渡吉浜の奥地、五葉山のふもとに大窪山があります。今は放牧地として広々とした草地になっていますが、かつては自然林の茂る大密林でした。この山をよく知る人は、神の住む精霊の山とし、吉浜に伝わる「精霊スネカタクリ」もこの山に住むと伝えられていました。また、この山は金石・大船渡・三陸の境ともなっていました。

唐丹村と日頃市村が大変仲の悪かったとき、日に日に両村の出入りが悪くなり、日常の交際はもちろん、嫁の行き来もできないありさまでした。その頃、この2つの村の若者と娘が恋仲となり、人目を忍んで逢瀬を重ねていました。人に知られたら村のおきてを

破ることにとなり、大変なことになるかもしれないと2人で心配をしていました。いずれ村人たちに知られることを恐れながらも、月日は次々に過ぎていきました。日頃市と唐丹からでは、はるかに遠い道のりでしたが、夜遅くなつてから夜道を通う2人はいっそう深い仲になり、深く結ばれていきました。

春も過ぎて夏も終わろうとするころ、2人のことが次第に村中に知れわたるようになってきました。2人の会う所は、大窪山にある沼のほとりです。両方の村から登る中間にもなっていました。若者は、会う度に新しいいわらじを作つてきては娘に渡して、この次に履いてくるようにと、心配りを



していました。娘は夜道の難を避けるため、髪をほどいて振り乱し、口にくしをくわえ、山道を歩いていました。やがて山も秋に入り、夜も冷える時節となりました。あるとき、いつもの逢瀬の場所に娘の姿が見えないことがありました。若者は、娘がきつと来ることを信じつつも、一

方ではいつもと違い不安な予感もしていました。その夜は雨でしたが、夕方から次第に雨足が強くなり、とうとう娘は姿をあわわしませんでした。若者は、娘の面影を追いながら、沼のほとりの一本の櫓の木に近寄り、護身用の腰刀を抜いて、次のような文字を刻みました。『赤坂の一本小櫓が物言うならば語りおきたや枝もるとともに』若者は力なく肩を落とすと、

着ていたものを脱いで沼の中の深い所に身を投じました。しかし、皮肉なことにそれから間もなく、娘が姿をあらわしました。娘が目にしたものは、なんと恋しい人のみが、ぽつんと雨にたたかれていた風景だけでした。事の成り行き的一切を知った娘も、やがて若者の後を追つて、自分も沼に身を投げたのでした。後日、死体は沼の底深くに沈み、永久に浮かぶことはなかったそうです。それからは、この沼のことを「あわず沼」と呼ぶようになったそうです。いつもは「会つて」いても、大事な時に「会う」ことができなかった2人の若者を思いやる村人らの気持ちの表れだといひます。―若者が歌を刻んだ櫓の木は、すでになくなっていますが、大きな石の間隙には、2人の若者に供えたと思われる小銭が、みられたそうです。なお「あわず沼」との名称は今では訛り「あび沼」と呼ばれています。



開催します

動物との触れ合いを楽しめる

春祭り2018

再生の里ヤルキタウンでは、「春祭り2018」春だ！スポーッだ！自然と触れ合おう」を開催します。

◆日時：4月22日(日)、午前10時～午後3時

◆内容：岩手サファリパークからの「ふれあいどうぶつ園」やパークゴルフ楽しみ方体験教室（参加者募集）、菊池秀樹さん歌謡ショー、バルーンアートなど

◆場所・問い合わせ先：再生の里ヤルキタウン（熊倉）☎090(4880)8488

募集します

一緒に習いませんか

パソコン教室

パソコン教室の参加者を募集します（パソコンを持っていない人には無料で貸し出しします）。

◆クラス・日時：A 毎週日曜日、午前9時～正午 B 毎週水曜日、午前9時～正午 C 初心者向け 毎週金曜日、午後1時～4時 D 毎週火曜日、午後6時半～9時

◆場所：A B C クラス 竹駒地区コミュニティセンター D コミュニティホール

◆会費：月2千円

◆問い合わせ先：シニアネットワーク アス・高田（小野寺）☎0192(54)3820

再就職を支援します

ポリテクセンター岩手 遠野実習場6月入所生

ポリテクセンター岩手・遠野実習場では、6月入所の訓練生を募集します。

30年度も継続して実施します

ふるさとタクシー助成事業

市は、高齢者や重度の身体障がいなどで、移動が困難な人に、タクシー料金の一部を助成します。

◆助成対象・内容…右の表のとおり

◆申請方法…①29年度に申請した人は、自宅にタクシー助成券を郵送②30年度中に75歳となる対象の人には、申請書とタクシー助成券を郵送③免許証の返納などで新たに対象となる人は、5月1日以降に市役所窓口で手続きができます（郵送での受け付けも可能です）。

◆タクシー助成券送付時期…30年5月(予定)

◆申し込み・問い合わせ先…市役所地域福祉課障がい福祉係（内線204・205）

■ふるさとタクシー助成事業の対象・交付内容

対象者	矢作町(生出、二又、雪沢)、横田町、広田町に住んでいる75歳以上の人で、免許証を持っていない人や免許証返納者、右欄の手帳所持者	左欄の地域以外に住んでいる、身体(1・2級)療育(A)精神障害者保健福祉(1級)手帳所持者
交付枚数	1月あたり6枚	1月あたり4枚
助成額	タクシー助成券1枚につき5000円(申請のあった月から当該年度分をまとめて交付、既に申請している人は12カ月分)	

※1回の乗車で使用できる枚数に制限はありません(30年度から変更)

◆応募資格：ハローワークに求職申し込みをしている人

◆募集科：住宅建築施工科

◆定員：12人

◆受講料：無料(テキスト代は自己負担)

◆訓練期間：6月1日(金)～11月28日(木)

◆申込期限：5月14日(月)(ハローワークへ)

◆問い合わせ先：ポリテクセンター岩手・遠野実習場☎0198(63)1411

新エネルギー設備導入促進事業

太陽光発電や薪ストーブなどの設置に助成

市は、新エネルギー設備の導入を促進するため、電灯契約している一般住宅や事業所への太陽光発電システム(太陽電池の最大出力の合計が10キロワット未満のもの)やペレットストーブ、薪ストーブ(二次燃焼機能があるもの)の設置費用の一部を助成します。

◆対象者：市税の滞納がなく、次のいずれかに該当する人

①市内の住宅などに新たに新エネルギー設備を設置②新エ

ネルギー設備設置後に、市内に転入または事業所を開設

◆助成対象工事：31年3月8日(金)までに完了予定のもの

※助成決定後に、工事に着手する必要がある。

◆助成額：①太陽光 1キロワット当たり3万円で、上限10万円

②ペレット・薪ストーブ 設置に要した経費の2分の1で上限10万円(陸前高田地域商品券で助成します)

◆申し込み・問い合わせ先：市役所地域福祉課生活安全係(内線207)

お知らせ

愛のアクション

献血にご協力ください

次のとおり献血を行いますので、ご協力をお願いします。

◆日時：4月16日(月)、①午前9時半～正午②午後1時半～4時

◆場所：コミュニティホール

◆問い合わせ先：市役所地域福祉課地域福祉係(内線202)

こども図書館いさいおうち 開館日時が変わります

こども図書館いさいおうちでは、4月から開館日時を次のとおり変更します。

◆開館日：水・土・日曜日

◆開館時間：午前10時～午後4時(毎月第3土曜日、午後2時からは「おはなし会」を開催します)

◆問い合わせ先：こども図書館 いさいおうち ☎080(6030)1282

陸前高田市地域防災計画

見直しを行いました

市は、防災会議を開催し、「陸前高田市地域防災計画」を修正しました。主な修正点は①自助・共助・公助の理念の明確化②災害の教訓を踏まえた新たな対策の推進です。

※詳細は、市ホームページや図書館で確認ください。

【避難指示(緊急)を発令する区域について】

○津波警報・大津波警報：東日本大震災の津波浸水区域○津波注意報：東日本大震災

②被災宅地復旧工事費補助金③被災住宅補修等工事費補助金(補修・耐震改修・バリアフリー改修、県産材改修)④被災住宅再建利子補給補助金(補修・既住ローン)

◆申請期限：32年度末

◆問い合わせ先：市役所被災者支援室(内線437)

保育士・保育所支援センター

資格を生かしませんか

県保育士・保育所支援センターでは、資格を持つていながら保育士として働くことに不安がある人、ブランクのある人などの就職をサポートしています。研修会や就職相談会も実施しているので、気軽にご相談ください。

◆問い合わせ先：県保育士・保育所支援センター☎019(637)4544

市避難路整備事業

補助金を交付します

市は、避難路整備事業を実施する自主防災組織などに、指定緊急避難場所、指定避難

所、自主防災組織などが定める避難場所への安全な避難路を整備するために必要な経費に対し、補助金を交付します。

◆補助対象：避難路の新設、改修、附帯設備の設置に係る工事など

◆補助金額：対象経費の3分の2の額で、上限200万円※補助対象経費が10万円未満の工事は対象外

◆申し込み・問い合わせ先：市役所防災課(内線603)

歯や口の中の悩みなど

ヨイ歯デーテレホン相談

県保険医協会歯科部会では、歯科医師が歯に関する悩みについて相談に応じる「ヨイ歯デーテレホン相談」を行います。相談は無料です。

◆日時：4月18日(木)、午前10時～午後7時

※相談の回答は、当日の午後7時以降になります

◆相談電話番号：☎019(651)7341

◆問い合わせ先：県保険医協会歯科部会☎019(651)7341

～食生活改善推進員～
今月のおすすめレシピ

鶏肉とじゃがいもの 中華風炒め



(1個分) エネルギー 238kcal
食塩相当量 1.2g

材 料(4人分)

鶏もも肉……………200g
A酒……………小さじ1
 しょうゆ……………小さじ1
 片栗粉……………適量
 ジャガイモ……………320g
 ピーマン……………3個
 ねぎ……………½本
 にんにく……………1かけ
 しょうが……………1かけ
 赤なんばん……………2本
 油……………小さじ4
B酒……………小さじ2
 砂糖……………大さじ1
 しょうゆ……………大さじ1½
 片栗粉……………小さじ1
 水……………60ml

新じゃがを食べよう！

これから初夏にかけては新じゃがの季節です。皮が薄く、みずみずしいので、皮をむかずにそのまま調理することで、ジャガイモのうま味をしっかりと感じられます。ビタミンCやカリウムが豊富で、特にビタミンCはじゃがいもでんぷんの効果で、加熱しても壊れにくい性質を持っています。

辛みの効いたタレがからんだおいしい一品です。とれたてのジャガイモを使った料理で、季節を感じてみてください。

◆問い合わせ先…市役所保健課保健係(内線241)

作り方

- ① 鶏もも肉は食べやすい大きさに切り、**A**を混ぜ、片栗粉をまぶす。
- ② ジャガイモは大き目の乱切りにしてゆでる(電子レンジで加熱も可)。ねぎは斜め切り、ピーマンは乱切りにする。
- ③ にんにく、しょうがは千切り、なんばんは輪切りにする。
- ④ フライパンに分量の半分の油を熱して鶏もも肉を焼き、火が通ったら取り出す。
- ⑤ ④のフライパンに残りの油を追加し、③、ねぎ、ピーマンを入れて炒め、ジャガイモ、鶏もも肉を戻し入れる。
- ⑥ 混ぜておいた**B**の調味料を加えて全体にとろみがつくまで加熱し、火を止めて完成。

編集後記

開館を間近に控えた陸前高田市総合交流センター「夢アリーナたかた」真新しい施設でのプレイベント・六大学バスケの試合を見ていたら、無性に体を動かしたくなりました。開館後は、スポーツ交流の拠点となること間違いなしです▼「広報くぜんたかた」は4月からまちづくり戦略室の担当に変わります。(田宮)